

1

千代田区報

No. 55

昭和32年1月15日

千代田区役所

発行

0151
九段33局 8531

毎月1回



年頭の辞

区の発展は皆さんとともに

千代田区長 村瀬 清



千代田区の皆さん、新年おめでと
うございます。
新しい年を迎え、心を新たに
して昨今の世運をふりかえつてみま
すと、まさに日進月歩、刻々とし
て世界は変ぼうし、原子力時代か
らいよいよ新宇宙時代へとはいっ
てまいりました。それにとまなつ
て、私どもの生活も、また、激し
い変転のうちに、いとなまされてい

済的関係の影響が、本区の産業の
大きな部分を占める中小企業と大
企業との対立を、一層激しくさせ
るであろうことも充分予想される
ところであります。

私どもは、このような条件をよく
知ることにより、東京都における
千代田区のしめる位置や、区内各
地域の特性にそくした、そしてお
のおの地域が更に発展していく
方途を真剣に考えております。

具体的には、昨年四月に発足した
高層建築促進の仕事により、本区
の定住人口を増大させ、商業繁栄
の回復と、都市美観の増進と、能
率化を図らんため、ちやくちやく
とその歩を進めております。

私どもに直接深い関係があること
がらを考えてみましても、戦後十
二年の間にわたりかわれてきました
民主主義のものと地方自治発達の
気運も、「住民の、住民のための
住民による」という本来の方向が
中央集権の方向に再編成されよう
としています。現在でも、区民の
みなさんの、国民としての主権の
発動手段である選挙権の一部が、
すでに失なわれている事実を考え
あわせられた時、このような傾向
と、私どもの町、千代田区の隆盛
への途との間に大きな問題がある
ように考えられます。

また、わが国内外のいろいろな経
たします。

このような事業から、憲法に書か
れている「国民は健康にして最低
の文化生活を営む権利がある」と
いうことは通りの生活を、誰もか
れもができることが本当の意味で
の福祉国家、文化国家への第一歩
であらうと思います。どれをとつ
ても、なにを考えると、千代田区
の発展は区民の皆さんとともに努
力を続ける以外にはないことを思
い、ますます皆さんのご理解と協
力をお願いいたすとともに、更に
一層のご健康とご活躍をお祈りい
たします。

国民健康保険の準備状況

異動のときはご注意ください

国民健康保険とはどういふものかについては、昨年十月号の当広報紙に掲載したとおり、相助け、ともに費用を分担し、また、それに国や地方団体が医療費の一部や経費を補助する仕組みで、疾病負傷、分娩、または死亡に關し、保険給付をするものです。いわばわれわれが生きて行く上では、病氣やケガ、また、その際の療養費の支出が常に氣にかか

るものですがこの心配を少しでも軽くしようとするのが、国民健康保険です。職域關係には、特別国民健康保険や健康保険組合などがあり、それに加入していない人の為には、市町村ですでに国民健康保険を実施しているところがたくさんあります。東京都二十三区でも、これらの人のために三十三年中に実施する予定で、昨年七月、基本調査を各戸別に行ないました。その後、十二月一日には、区役所民生課に国民健康保険準備係を新設し、鋭意準備を進めています。ただいま七月の基本調査による保険対象者

の異動状況を調べるとともに、一月四日からは、各出張所の窓口で転出入などに対して、国民健康保険に關する調査を行なつています。すなわち、一月四日以後に、千代田区に転入して来た方については出張所窓口で、氏名、世帯主との続柄、生まれた年、職業、他の健康保険に加入しているかいないかなどを、所定の用紙に記入していただくことになつています。これは転出して行く方についても同じです。また、昨年の七月、十二月中の転入者については、職員が戸別訪問をして開取り調査を行なっています。

これらは、医療費、分娩費などの給付や、正しい保険料(税)をきめる基礎になる大切なもので、お入する世帯は三、七七〇(一三%)です。これを職業別に調べた結果では、販売従事者が三、二六九世帯で全加入対象者の二五%、以下無職二、四二七(一九%)、一般事務従事者九、九七(八%)、サービス職業従事者八、九二(七%)、管理的職業従事者八、七八(七%)、印刷製本従事者四、七二(三%)、織物業製造従事者四、五一(三%)、その他三、四八三(二七%)となつています。



年頭の辞

「生きた行政」を念願

千代田区議會議長 土師野幸一



敬愛する区民の皆様、明けましておめでとうございます。区民の皆様には、いよいよ優勝にて、新しい希望に溢れた昭和三十三年をお迎えしたと存じます。私も明るい住みよい千代田区の建設に強い希望を抱

いて春を迎えました。さて、ソ聯邦にて発射された人工衛星は、宇宙時代の出現を意味し人類の歴史に新しい紀元が開かれたようです。科学の目まじい躍進が世界人類の上に幸福をもたらすよう、ひたすら祈つてやみません。世界經濟界は悲觀材料山積し不況の傾向にあり、わが國經濟界本年度の見透しまた樂觀を許さず横ばいの状況ですが、輸出振興に努力をきたし、明るい希望を持ちたいと存じます。

ひるがえつて、わが千代田区は区民の皆様の絶大なるご協力、ご支援により、教育、土木、民生、商工、観光行政各般にわたる、内容充実の域に進みましたことは、まことに感謝にたえないところであります。本年は最低の行政費をもつて、区民生活の福祉増進につながる「生きた行政」の運営をいたしたいと念願いたしております。区民の皆さまにおかれましては、何卒千代田区政伸展のため、なお一層のご指導、ご鞭撻たまわらんことをお願い申し上げます。

新年生の身体検査
22日から各小学校で
来年度四月一年生になる児童の予備身体検査が、一月二十二日から次の日程で実施される。時間はいずれも午後一時から
十八日 淡路、佐久間、見
十九日 番町、今川、神竜、二
月四日 麹町、神田、西神田
九日 小川、芳林、十一日
九日 錦華、千桜、十二日
永田町

昭和三十三年九月十五日現在で調製された基本選挙人名簿がこのほど確定した。これによると、昭和三十三年度の千代田区内有権者の数は、七万六千七百七十九人で、昨年度の七万六千四百七十八人に比べ、二百四十一人多い。男女別では、男が七百三十七人増えているのに対し、女は四百九十六人減つている。出張所別の有権者数は表のとおり

選挙 有権者 二百四十一人 増える

出張所別有権者数 (昭和32年度)

出張所名	男	女	計
番町出張所	6,970	7,343	14,313
麹町出張所	6,977	5,997	12,974
神田出張所	7,287	6,264	13,551
保田出張所	5,570	4,782	10,352
神田出張所	5,918	5,017	10,935
万和出張所	8,957	5,637	14,594
合 計	41,679	35,040	76,719

昭和32年度上半期区財政の状況

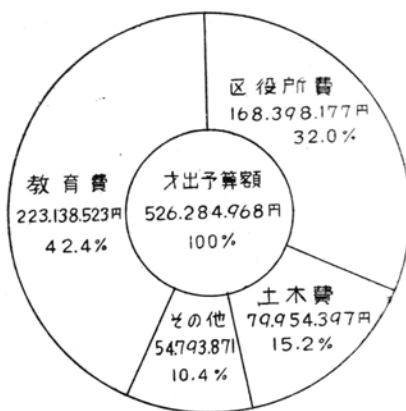
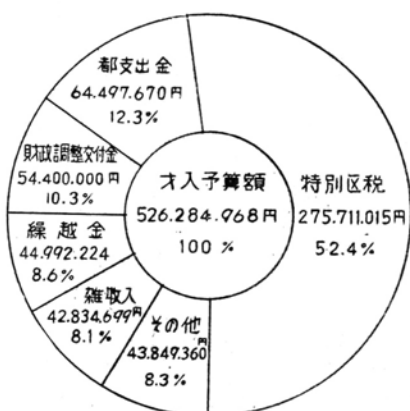
昭和三十二年上半期（昭和三十一年四月一日～九月三十日）の千代田区の財政状況がこのほど明らかにされた。同期末の昭和三十一年度予算総額は、その後四回にわたる追加予算を含め、五億二千六百二十八万四千七百七十四円に上り、すでに四十六万四千七百七十四円が収入済で、四十万四千七百七十四円が支出済で、十六万四千七百七十四円が支出され、二十四万四千七百七十四円が支出されている。

予算の概要

昭和三十二年当初予算は、年間を通じて予測できる財源のすべてを考慮し、また一方では地方財政再建整備の主旨を考え合わせ、都方の示して来た一般節減方針をも斟酌して、行政各分野の必要経費を定めた年間予算として編成している。その後、本期末まで四回のわたつて掘さく道路の復旧、校地買収、中、小学校校舎造修に要する経費、その他確定財源による緊急やむをえない経費を追加分上して、今期末昭和三十一年度予算総額は五億二千六百二十八万四千七百七十四円となる。なお、本年度特別区財政調整交付金については、年度当初に一度の見込額によつて計上したが、その最終的決定は下半期に持ち込まれることになった。収入、歳出予算を円形グラフに示すのとおりである。

昭和32年度歳入歳出予算比較図表

（昭和32.9.30現在）



公営企業収入	8,000,000円	1.5%
財産収入	1,640,100円	0.3%
使用料及手数料	26,399,260円	5.0%
寄附金	7,810,000円	1.5%

議会費	19,292,243円	3.7%
区役所費	3,729,480円	0.7%
土木費	1,214,210円	0.2%
教育費	464,180円	0.1%
社会施設費	4,493,976円	0.9%
選挙委員会費	8,506,865円	1.6%
監査委員費	3,534,817円	0.7%
商工観光費	11,558,100円	2.2%
公会堂費	2,000,000円	0.3%

予算科目別収入及び支出状況

（昭和32.9.30現在）

収入

支出

科目	予算現額	収入済額	収入割合
	円	円	%
1. 特別区税	275,711,015	11,263,494	43.3
2. 公営企業収入	8,000,000	12,500,000	156.3
3. 財産収入	1,640,100	392,744	23.9
4. 財政調整交付金	54,400,000	28,818,000	53.0
5. 使用料及手数料	26,399,260	16,832,174	63.8
6. 都支出金	64,497,670	14,226,600	22.1
7. 寄附金	7,810,000	1,738,000	22.3
8. 繰越金	44,992,224	70,540,187	156.8
9. 雑収入	42,834,699	23,095,534	53.9
合計	526,284,968	287,406,733	54.6

科目	予算現額	支出済額	支出割合
	円	円	%
1. 議会費	19,292,243	9,069,539	47.0
2. 区役所費	168,398,177	79,575,669	47.3
3. 土木費	9,954,397	37,568,116	47.0
4. 教育費	223,138,523	84,785,010	38.0
5. 社会施設費	3,729,480	839,689	22.5
6. 選挙委員会費	1,214,210	377,017	31.1
7. 監査委員費	464,180	224,040	48.3
8. 商工観光費	4,493,976	2,095,373	46.6
9. 徴税費	8,506,865	4,087,934	48.1
10. 公会堂費	3,534,817	1,303,641	36.9
11. 諸支出金	11,558,100	4,422,609	38.3
12. 予備費	2,000,000	0	0
合計	526,284,968	224,348,637	42.6

印鑑(実印)について

注意

皆さんが、区役所の出張所に登録されている印鑑(実印)で、つぎに該当するものは、本年七月一日以降は無効となりますので、お早めに出張所で改印届をされるよう、お願いいたします。マシ籍簿、または、住民票に記載されている氏名、氏、名などとは違うもの。マシ職業や、他の事項を合わせてあるもの。マシ印など、形の変わりやすいもの。マシ印影の大きさが二十ミリメートル以上のもの。マシ印影のはつきりしないもの。マシ外国人の方の場合は、右のほか、外国人登録原票の氏名、氏、名などと違うもの。その他、くわしいことや、不明の点は最寄の区役所出張所へ(外国人の方は、区役所戸籍課住民登録係へ)お問合わせ下さい。

☆ ☆ ☆

区民税第四期分

1月31日まで

◎納期内は最寄の区役所出張所・銀行・郵便局・信用金庫でとりあつかいます。
◎納期限をすぎますと、とりあつかいは区役所だけとなります。
◎徴税令書がお手元に届いてない方は区役所税務課へお申出下さい。

児童園学舎 王年のおルームバス

区内のきよ弱児五十六人が生活する鎌倉臨海学園に、このほど、総タイル張りのきれいなバス・ルームがお目見えしました。こどもたちと四六時中生活を共にし、親代りにめんどろをみなければならぬこの学園の先生方はなんとかお風呂場をきれいにし上げてたいと願っていたところ、学園周囲の屏の修理と合わせて昨年十二月二十一日に着工し、約五十万円の区費ででき上ったわけです。新しい浴場はガス風呂で、今まで一基だったシャワーが五基に増え、六対のガラランからは上り湯がふんだんに出るほか、湯舟も今までより一倍半ほど広げられました。また脱衣所には洗面所、ロッカーも備わるといふ、至れり尽せ備りの設で、ガラランの上には、今年度の



(写真)新しい湯舟を囲んで大喜びの園児たち

卒業生がシネマスコープ型の鏡を寄付するという事です。一月十日、丁度、正月の休みを終えて学園に帰つて来たこどもたちは、このすばらしいお年玉に大喜び、上塗りの臭いも真新しい、見違えるような浴場に目を見張っていました。

一、二月のこども会

毎月、区内各児童遊園を巡回して行なっている野外こども会は、一月は寒さを避けて、つぎの二月は区民館で行なわれる。時間はいずれも午後一時から。
富士見町区民館 一月十四、十六、十七、二十四日△番町区民館 二十日、二十三日△万世橋区民館 二十七日、三十日△和泉橋区民館 二月三日、

六日△神田公園区民館 二月十日、十三日△神保町区民館 十七日、三十日

「はたちの声」入選者に丸山君、中沖さん
一月十五日、千代田公会堂で開かれた「成人の日を祝う新春家族大会」に、例年のとおり作文「はたちの声」入選者が発表されたが、

(公会堂催し)

今年の入選者は、男子が丸山惣松君、神田末広町三三(店員)、女子が中沖広子さん、千代田区麹町一ノ六(銀行勤務)に決まった。
「一月」
二十日 同和会音楽研究発表会(夜)
二十一、二十四日 劇団ともづな公演(夜)
二十五日 朝日新聞社料理講習会(午後)
二十六日 婦人問題協議会総会(午前、午後)
二十七日 日本老人連盟結成会(午後)
二十八日 日本共産党政議発表会(夜)
二十八日 東京労働映画とLPコシサート(夜)
二日 共栄火災海上保険家族慰安会(午前・午後)
五日 劇団「稲の会」公演(夜)
八日 気象庁文化祭(午前・午後)
十一日 商業者のつどい(午後)
十二日 安田火災文化祭(午後、夜)
十五日 東南アジア友好協会総会(午後)

歳末たすけあい運動結果

昨年末行われた歳末たすけあい運動の中間報告が、昨年十二月二十五日現在で千代田福祉事務所からつぎのとおり発表された。

(昭和三十三年十二月二十五日現在)

千代田区人口 (1月1日現在)

	前	月	本	月	差	引
世帯数	26,166		26,194		29	—
人口	男	67,368		67,408	40	—
	女	53,439		53,458	19	—
計	120,807		120,866		59	—

取	扱	別	現	金	衣	類	其	備	考
計	八三九、〇九二		四、四九九						
民	六三、五三九		一、一五五						
福	九四、八五〇		七、五三三						
社	一五、〇〇〇		一、五〇〇						
事	八五、五六一		七、五三三						
務	六三、五三九		一、五〇〇						
所	九四、八五〇		七、五三三						
員	一五、〇〇〇		一、五〇〇						
計	八三九、〇九二		四、四九九						
外	五、〇〇〇		一、五〇〇						
に	五、〇〇〇		一、五〇〇						
婦	五、〇〇〇		一、五〇〇						
人	五、〇〇〇		一、五〇〇						
部	五、〇〇〇		一、五〇〇						
か	五、〇〇〇		一、五〇〇						